

令和3年10月1日(金)に、名古屋市立廿軒家小学校で「庄内川の自然環境」と「水害と防災」をテーマとした授業の支援を行いました。授業では、児童が庄内川に生息する水生生物の観察や庄内川の水質計測などを体験をすることで河川環境の大切さを学びました。また、全国で発生しているさまざまな水害について、実際に水害を経験したことがない世代である児童に、近年の大規模水害や東海豪雨の被害の様子を知ってもらい、水防災は、「事前の備え」や「自らの命は自らで守る」という意識をもった行動が重要であることを伝えました。

環境学習 ～水生生物の観察～



環境学習 ～水生生物の観察～



環境学習 ～水質計測～



環境学習 ～お魚タッチ～



【参加した児童：3年生99名】

★児童たちの感想や質問など

- ・海と川を行き来する魚は日本でどのくらいの種類がいるのか知りたいです。
- ・川の水が汚くなったりきれいになったりする方法を調べて、汚い川をきれいにしたいです。
- ・川のごみを拾って、川の水をきれいにしていきたいです。
- ・川で魚を捕まえて、捕まえた魚を触ったり名前を調べたりしてみたいです。
- ・ウナギがヌルヌルしていたけど、触れて楽しかったです。ヌルヌルする理由を調べたいです。
- ・カメの甲羅がこんなに硬いとは知りませんでした。
- ・庄内川の水がきれいになったので、魚も住みやすくなって喜んでいるだろうと思いました。
- ・21年前に愛知県で大きな災害があったことは知りませんでした。水害に備えるために「自分の命は自分で守る」という言葉が印象に残りました。 など

防災学習 ～『自らの命は自らで守る』～



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用、消毒、検温等の対策を行い、開催しました。